

# 過去の津波と柏崎刈羽原子力発電所における津波評価

## 1. 日本海側における過去の津波

例：北海道南西沖地震津波（1993年）

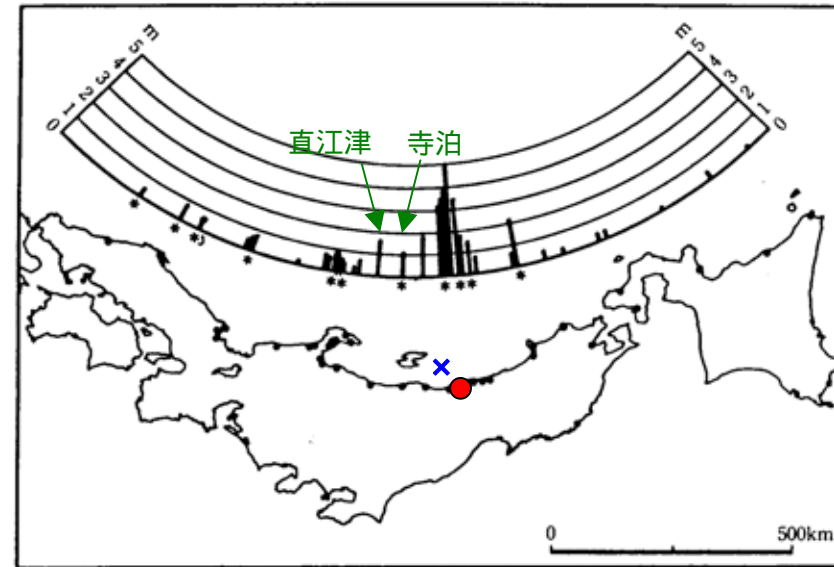
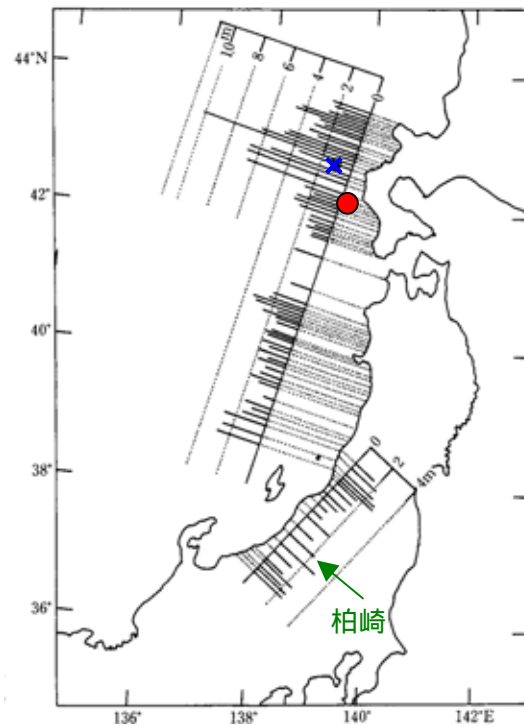
最大遡上高さ = 北海道奥尻島( ) 31.7m

この時、柏崎では 2.25m, 2.28m

例：新潟地震津波（1964年）

最大遡上高さ = 新潟県岩船町( ) 6.4m

このとき、柏崎では 1.13m, 1.45m



×：震源位置

日本被害津波総覧（渡辺）に加筆

## 3. 原子力発電所の津波に対する検討

敷地周辺で過去に発生した津波に関する文献調査・聞き取り調査

敷地に影響を与える津波の選定

津波の数値シミュレーション

発電所の敷地高さ・取水路の底盤高さとの比較

発電所の敷地高さ > 上昇側で想定される最大規模の津波

取水路の底盤高さ < 下降側で想定される最大規模の津波

## 4. 設置許可申請書（6,7号炉:昭和63年5月）

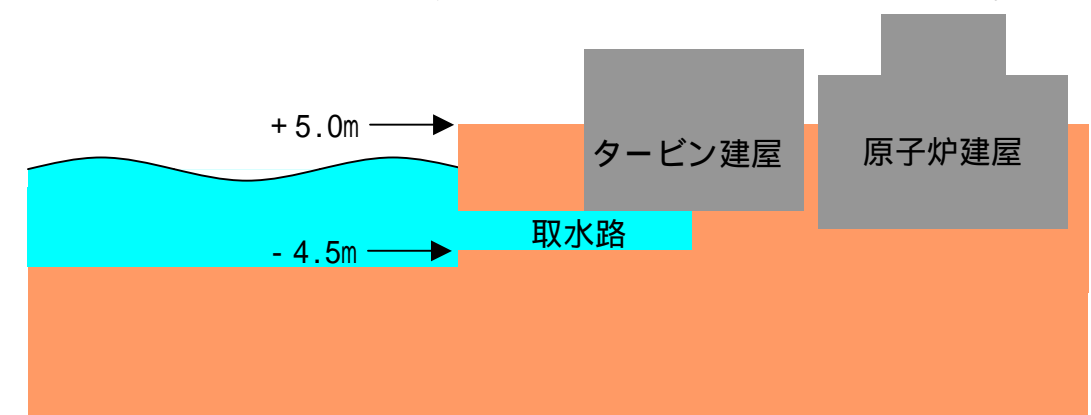
「過去の地震記録，関連文献等から津波による水位上昇を推定すると，最大3.3mであり，これに朔望平均満潮位T.M.S.L.+0.4mを考慮すると，3.7m程度となる。」

上昇側：+3.7m，下降側：-3.4mと評価

3. に照らし，発電所の安全性に問題がないことを確認

1614年に越後高田付近で発生したとされる津波の解析結果。

なお、この地震での柏崎付近での津波記録はない。



津波水位評価の概念図

## 2. 柏崎周辺における過去の主な津波

これまでに、柏崎周辺に3m以上の津波が来襲したことはない。

年	地震名	津波高さ[m]	観測地	備考
1833	山形沖地震	2~3	出雲崎	山形県鶴岡市では7~8m
1964	新潟地震	1.13 1.45	柏崎	新潟県岩船町では6.4m
1983	日本海中部地震	1.4	柏崎	秋田県峰浜村では12.98m
1993	北海道南西沖地震	2.25 2.28	柏崎市米山海岸 柏崎市柏崎港東	北海道奥尻島では31.7m